



発行 2013年1月
通巻第28号
発行責任者：又市 婦美子
〒514-0818
津市城山1丁目8番16号
tel 059-238-0303
fax 059-238-0304
<http://yumenosato.net>

- 1、理事長ごあいさつ
- 2、事業所紹介
- 3、講演会「笑いでつなぐ地域の力」を終えて
- 4、GHはるか建設進捗ほか



ごあいさつ

あけましておめでとうございます。皆様方には、心も新たに新年をお迎えのことと思います。日頃より、当法人の活動に対しましてご理解とご協力と厚いご支援をいただき感謝申し上げます。おかげさまで大きな問題もなく順調に運営されており喜んでおります。

さて、昨今精神障害者や家族を取り巻く情勢はめまぐるしく変化しております。平成18年に施行された障害者が受けられる福祉サービスを定めた障害者自立支援法が改正され、今春から障害者総合支援法に変わります。生きる上で困難を抱える全ての人が等しく必要な支援を受けられる仕組みを整えてもらいたいものです。

夢の郷の利用者さんたちは、仲間や職員など良き理解者達と「もう一つの家族」として生活しておられます。時間をかけてお互いを理解しあい存在を認め合うことにより、他人だけど他人じゃない。生活する間に連帯感が生まれる。時には自分を解ってくれる友にピアサポーターになってもらったり、時には友のことが解ってあげられる自分が友のピアサポーターとなったりしながら、職員のアドバイスも受けて、それぞれが自分らしい生活、生き方を見つけておられます。夢の郷そのものが大きな家族になっている印象を受けます。

かねてからの念願であった「グループホームはるか荘」の建設事業も軌道に乗り、昨年11月12日には起工式が執り行われました。3月には竣工、4月には開所のはこびとなっております。これも県や市のご支援はもとより、障害者理解の進んだ城山地区の皆様のおかげとご理解の賜物と改めて感謝申し上げます。グループホームは、当事者一人ひとりによって心地よい環境の中で世話人の支援を受けながら地域の中で生活する経験を積み重ねることができ点が何よりの大きな魅力だと思います。地域で暮らせるように後押しする自立に向けての応援事業の新たな誕生に期待が膨らみます。

夢の郷は、平成11年にさまざまな期待を担って誕生しました。14年目を迎えました今、当法人の存在と役割は今後ますます重くなっていくものと思われまます。これからも夢の郷を必要とする人たちのためになるよりよい施設、場所でありたいと思っております。精神障害者は、長期の支援が必要です。支える人材の育成と拡充等は極めて重要であり、当法人が抱える大きな課題となっております。これらの課題解決のために、そして障害のある人も地域で暮らせる社会の実現に向け、今後もさらなる御指導御支援をお願い申し上げます。

社会福祉法人夢の郷 理事長 筒井みわ



《就労継続支援B型事業所 クローバーハウス施設紹介》

私たちは、障害のある人が地域の中で、働きながら自立して、社会にも貢献したいと思っています。
私たちの自立と社会参加に、ご理解とご協力をお願いします。
当事業所で一緒に働きたいとご希望される方は、是非一度お訪ね下さい。



2年保存
缶詰パン

事業内容紹介

パンの製造



票の貼り付けや、パン袋の準備



パンの製品仕分け



パンセットの宅配



受託作業



除草作業



講演会「笑いでつなぐ地域の力」にたくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。今後ともご支援のほど宜しくお願い致します。

今回の後援会の目的は、精神障がいへの理解を深め、また地域の暮らしを知ってもらうきっかけづくりとして進めてきました。今まで地域でお世話になっている民生委員さんに、より知って頂く良い機会になるのではと思いました。笑いや落語なら抵抗なく構えずに受け入れられるように思い、協議会の中で何度も話し合いの場を持ち、「笑い」をテーマにして企画を進めてきました。



講演会を終えてみて・・・

このような講演会を開催するのは初めてのことでしたが、皆さんのお力添えあって無事に終わることができたと思います。当日、260名程の方がご参加くださいました。お答え頂いたアンケートの中から、「障害のあるなしに関係なく、笑いによって心が繋がった」というお言葉を頂いたことがとても印象的で嬉しかったです。このイベントを機に、少しでも精神障がいのことやこの取り組みについて興味を持って頂けたら良いと思います。

担当者の大貫さんから一言

コーディネーターの主な仕事としては、ピアサポーターと一緒に地域への啓発活動を行ったり、地域移行支援協議会を開催し、圏域内の課題把握・検討を行っています。啓発活動の一つとして、こちらの医療センターと榊原病院で、ピアサポーターと患者さんの交流の機会があります。何かテーマを決めてそれに沿ってであったり、茶話会のような形式で自由に話をしたりと、リラックスして自然にコミュニケーションを取ってもらえる場です。当事者さん同士、退院して地域生活をしていく上で良かったことや困ったことを生の体験談を通して話し合うことで、身近に感じられ、患者さんの心にも響くのではないのでしょうか。長期入院をしている患者さんに地域での暮らしのことをより具体的にイメージしてもらうために、ピアサポーターさんの役割は本当に大きなものだと思います。

今後もピアサポーターさんに活躍して頂く場が続くことを願っています。

グループホームはるかの建設進捗状況



(工事完成は2月末の予定です)



ケアホーム車両を購入しました！

2012.9～2012.12 間の活動など

<防災訓練>

防災グッズを背負って



編集後記

新年号をお届けします。今年は、ホームページを新しくし近日中に公開します。恒例の夢まつりは3/8（金）に予定していますのでお立ち寄りお願いします。

編集委員：大瀬、渡辺、林、丸山、竹花、伊藤

